

あっち こっち おみの情報パック

おみじよ



伝道集団「アサカラザル」

2016 夏の号
VOL.
96

おみのり三昧

昔から仏教は、十三宗五十六派といわれ、それぞれ『法華経』『華嚴経』『無量寿経』などを宗のよりどころとしてきた。これらの諸経は、人間の能力の相違による成仏のための経として説かれたというのである。

浄土教は、『無量寿経』をよりどころとするのである。ところが、この浄土教にありながら、成仏のための念仏に専念することができず、真の念仏者になりえない自分に気づき、比叡山を出て、苦悩の中に成仏への道を求められたのが親鸞聖人であった。

法然上人が成仏のために自ら

親さまが呼んでくださる

(武彦尚邦
本願寺派勸学)

称える念仏に機縁を求めたのに対して、経に説かれた念仏は、『阿弥陀仏』に『南無』と頼むのではなく、頼む力のないこの自分に親さまの方から呼んでくださるのが念仏であり、呼び頼まざるにはおかない」と、親さまから私に「南無阿弥陀仏」と呼ばしめてくださるのが念仏であると受けとられたのが、親鸞聖人であった。

「南無阿弥陀仏」とは、私が親さまに「タノム」と願うのではなく、救いは間違いないと親さまが私を呼んでくださるみ声であります。

宗報2003年5月号より転載

夏のことば

「大漁」

朝焼け小焼だ

大漁だ

大羽鰹の大漁だ。

浜は祭りのようだけど

海のなかでは何万の

鰹のとむらいするだろう。

金子みすゞ

☎テレホン法話☎ (安芸教区内)

志和組 (東広島市) (0824)33-4989
 専徳寺 (大和町) (08473)4-1933
 教順寺 (東広島市) (0824)29-0050
 教得寺 (豊栄町) (0824)32-3600
 教法寺 (江田島町) (0823)42-2511
 願船坊 (可部町) (082)814-1011
 正向寺 (湯来町) (0829)86-0955

教徳寺 (甲田町) (0826)45-3800
 〃〈童話〉 (0826)45-3333
 佐伯東組 (広島市) (082)922-9914
 徳善寺 (豊栄町) (0824)32-2299
 正覚寺 (加計町) (08262)3-0111
 礼安寺 (加計町) (08262)2-2112

※テレホン法話は、電話で聴聞できるサービスです。
 おかけ間違いのないように。(休止している場合があります)

アサカラザル

◆伝道集団「アサカラザル」◆

★ 迫力あるライブ演奏に、歌詞の内容を読み解く法話や漫才法話を織りまぜて演出する、伝道集団「アサカラザル」。斬新なアプローチが、新たな伝道活動として注目されています。今回はその魅力の秘密に迫ります。

- ◆伝道集団「アサカラザル」・・・メンバーは全員安芸教区の僧侶。楽器が演奏できる仲間が集まりオリジナルバンドを結成。そんなアサカラザルのメンバーに話を聞いてみました。
- ◆ライブを通して伝えたいこと・・・バンド演奏(生演奏)は、演奏者がお互いの楽器の音を聞き合って演奏しますが、実際には他のメンバーが奏

でた音を聞いた後に演奏するのではなく、まだ聞いていない、次の一瞬に奏でられる音をお互いで想像しながら演奏します。それは聞き手の皆さんも一緒に、全員で未来の瞬間を想像して聞くのです。演奏者も聞き手の皆さんも、共に次の一瞬の音を想像して聞いていくと、お互いを聴き合うアンテナのチューニングが合っていきます。

◆ライブと法話・・・私たちは、お寺でのお聴聞はアンテナの感度を高めることであると考えています。それぞれのアンテナのチューニングが合ったとき、語り手と聞き手が一体となる不思議な体験をすることがあります。その感動をつくり出せないかと、ライブと法話を組み合わせてみました。ライブでは既存の日本の楽曲を演奏しますが、その歌詞の内容をご法話として読み解いていきます。仏さまとチューニングを合わせると初めて聞こえてくる解釈もありますし、作者が想像もしていない余計な解釈をつけることもあります。すると、今までとは違う風景がそこに広がってきます。われわれの日常の中にある、仏さまの心の風景を、共に味わってみましょう！

■伝道集団「アサカラザル」の多彩なライブの様相



公式Facebookページ <https://www.facebook.com/asakarazaru/>

おみじょの
本棚

はじめての親鸞

(五木寛之著／新潮社刊／756円税込)



親 鸞聖人をめぐっては、数えきれないほどの論文、研究書、文学作品が目白押しである。明治以来、これほど学界、ジャーナリズムでとりあげられた宗教家はいないといってよい。著者・五木寛之は半世紀以上、親鸞聖人に惹かれ続けてきた。当代随一の人気作家でありながら休筆し、龍谷大学で仏教史を学んだ後、大河小説『親鸞』三部作を書き上げた。著者は、長年にわたる探究と作家ならではの想像とともに、親鸞聖人が生きた時代、その思想、生き方をひもといっていく。『はじめての親鸞』は、2015年に行われた新潮講座「人間・親鸞をめぐる雑話」全三回をもとに加筆訂正した内容なので、会話調でとても読みやすい。平易だが味わい深く、ユーモアを交えた語りの中に、親鸞聖人の姿が浮かび上がる名講義録。



仏の子サマースクール

のご案内

この「おみじょ」を発行している広陵東組というお寺のグループは、今年も夏休みに仏の子を育てる「サマースクール」を開催します。小学生がスタッフとともに北広島町志路原の浄土寺さんに宿泊し

て「命の尊さ」「思いやり」「正しい心」を学ぶ集いです。キャンプファイアー、飯ごう炊さん、室内オリンピックなど、楽しい行事がいっぱい。また、ひよっとすると近くの川で天然記念物の「オオサ

ンショウウオ」を見ることができるかも。今年も、7月26日(火)～28日(木)の2泊3日で行う予定です。ご家族やお知り合いのお子様には是非ともご参加をお勧め下さい。詳しくはお手次の寺院にお問合わせ下さい。

おみじょりカレンダー

7月

1日(金)真宗学寮広済会法座(7/1~7/3)[時間]9:00; 13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂

2日(土)平和を願う念仏者の集い[午前の部]平和を語る集い講師:スティーブン・リーパー氏(広島女学院大学客員教授、広島平和文化センター前理事長)[時間]10:00[会場]本願寺広島別院本堂/[午後の部]全戦争死没者追悼法要・法話:岩崎正衛師(呉市・西教寺)・コンサート:仏教讃歌混声合唱団コール・スガندی[時間]13:00[会場]本願寺広島別院本堂

6日(水)關教部慈光会月例法座「お念仏のご利益」森重一成師(安佐北区・養専寺)[時間]14:00[会場]光道会館

9日(土)關教部光道会真宗講座「仏教の生死観」武田宏道師(元龍谷大学教授)[時間]14:00[会場]光道会館

10日(日)日曜真宗講座根来暁師(東広島市 西福寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

13日(水)關教部慈光会月例法座「救済と拯済」桑原浄昭師(呉市・浄円寺)[時間]14:00[会場]光道会館

15日(金)広島別院親鸞聖人御命日法要(7/15~7/16)河埜道真師(江田島市・徳正寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

16日(土)広島青年僧侶春秋会オアシス法話「これが私の生きる道」劇団女性オアシスパージョン [時間]18:30[会場]SLOW DOWN

19日(火)多山報恩会仏教講演会朝枝泰善師(山県郡浄土寺)[時間]10:30[会場]広島赤十字・原爆病院

24日(日)日曜真宗講座前田至法師(西区・善法寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室/**ビハーラ安芸いのちをみつめる研修会**「知って活用!介護保険制度〜ビハーラ活動と福祉サービスとの連携〜」植谷澄子氏(香川短期大学講師)[時間]13:30~15:30[会場]本願寺広島別院[聴講料]千円

8月

1日(月)豊耳会仏教講座釋徹宗師(大阪府・如来寺、相愛大学人文学部教授)[時間]13:30[会場]本願寺広島別院本堂/**真宗学寮広済会法座**(8/1~8/3)[時間]9:00; 13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂

3日(水)關教部慈光会月例法座「私の歩む道」伊藤唯見師(筒賀村・順正寺)[時間]14:00[会場]光道会館

5日(金)広島別院原爆忌法要武田達裕師(中区・広寂寺)[時間]5日:13:30/6日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂/**原爆御逮夜法要**[講師]武田達裕師(中区・広寂寺)[時間]20:00[会場]平和公園原爆供養塔前[主催]広

島市浄土真宗寺院連絡協議会※19時半より大手町の西向寺にて勤行、会場まで提灯行列あり

9日(火)ビハーラ安芸いのちをみつめる研修会「地域で生きること・地域で死ぬこと」渡辺友規氏(YMCA訪問介護ステーション ピース訪問看護師)[時間]13:30~15:30[会場]本願寺広島別院[聴講料]千円

14日(日)日曜真宗講座寺西龍珠師(呉市・真光寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

15日(月)広島別院孟蘭盆会(8/15~8/16)松林行圓師(安芸高田市・善立寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

17日(水)關教部慈光会月例法座「みえる世界とみえない世界」加藤一英師(豊田郡・浄泉寺)[時間]14:00[会場]光道会館

19日(金)多山報恩会仏教講演会牛尾かおり師(安佐北区・明光寺)[時間]10:30[会場]広島赤十字・原爆病院

20日(土)關教部光道会真宗講座「仏教の生死観」武田宏道師(元龍谷大学教授)[時間]14:00[会場]光道会館

28日(日)日曜真宗講座小林邦顕師(山県郡・安養寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

2016 7~9月

スケジュールの内容が、一部変更になる場合があります。電話で確認の上、お出かけください。

9月

1日(木)真宗学寮広済会法座(9/1~9/3)[時間]9:00; 13:30(1日のみ朝席なし)[会場]真宗学寮講堂

3日(土)關教部光道会真宗講座「仏教の生死観」武田宏道師(元龍谷大学教授)[時間]14:00[会場]光道会館

7日(水)關教部慈光会月例法座「人生のペースキャンプ」築田哲雄師(南区・法光寺)[時間]14:00[会場]光道会館

11日(日)日曜真宗講座宮武大悟師(西区・西念寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室/**龍谷大学男声合唱団 広島演奏会**[賛助出演]仏教讃歌混声合唱団コール・スガندی[時間]17:00[会場]本願寺広島別院共命ホール[入場]事前配布整理券が必要

14日(水)關教部慈光会月例法座「まことのむねいだけかん」武山晃隆師(山県郡・専正寺)[時間]14:00[会場]光道会館

15日(木)広島別院親鸞聖人御命日法要(9/15~9/16)寺尾仁師(安佐北区・明法寺)[時間]15日:13:30/16日:6:30;10:00[会場]本願寺広島別院本堂

16日(金)広島青年僧侶春秋会オアシス法話[時間]18:30[会場]SLOW DOWN

22日(木)広島別院秋季彼岸会加藤則行師(東広島市・教得寺)[時間]10:00;13:30

[会場]本願寺広島別院本堂

25日(日)日曜真宗講座藤井大樹師(安佐北区・教雲寺)[時間]9:00[会場]本願寺広島別院大会議室

27日(火)ビハーラ安芸いのちをみつめる研修会「高齢者福祉、私の失敗談」中村英龍師(佐伯区・最広寺)[時間]13:30~15:30[会場]本願寺広島別院[聴講料]千円



会場あんない

☎(082)231-0302
広島市中区寺町1-19
〒730-0801



本願寺広島別院

☎(082)233-4640
広島市中区猫屋敷3-2
猫屋敷ビル4F
〒730-0852



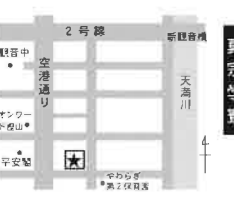
關教部光道会館

＝お知らせ＝

「見真講堂日曜仏教講座」の名称が「日曜真宗講座」に変わりました。開催場所も「酔心研修道場」から「本願寺広島別院 大会議室」に変更されました。ご注意ください。

問合せ先: 広島別院 ☎(082)231-0302

☎(082)231-2900
広島市西区南観音2-8-15
〒733-0035



真宗学寮

広島市中区千田町1-9-6
〒730-0052



広島赤十字病院
健康管理センター

多山報恩会連絡先
☎(082)241-5540

おみじョクイズ

クイズの応募はコチラまで

記念品
進呈!!!

ハガキに答と、あなたの郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号および本誌の感想、おたよりなどを必ず書き添えてお送り下さい。
宛先：〒730-0811広島市中区中島町7-2

浄園寺内『おみじョ』読者係

正解者の中から5名の方に記念品を進呈致します。〆切は9月10日(必着)、当選者の発表は次号です。おたよりやQ&Aも、どしどしお寄せ下さい。

なお、お送り頂いたおたよりは、断りなく本誌に掲載することがありますので、ご了承下さい。

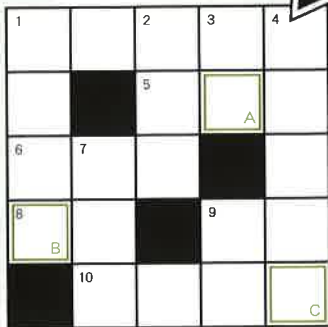
前号のクイズの正解

びょうく

当選者5名

西區	南区		
大越	正子	寺田	榮治
西區		佐伯區	
山崎	政枝	高雄	サヨ子
中区			
浜本	洋子		

Q 右のクロスワードパズルを完成させて下さい。A～Cの二重枠に入った文字を並べかえてできる言葉は何でしょう？



ヨコのカギ

- 焼いたり蒸かしたりして食べる。甘いです。大昔から食用に。
- 不注意なことです。
- 鋭い歯を持つ細長い魚。干物にして食べます。
- 〇〇を噛むような——味気ない。
- 過ぎ去りしものです。
- 大根や人参、牛蒡などのことです。

タテのカギ

- 空中ブランコや綱渡りはここで。
- これでカーソルを操作します。
- 墨を吐く海の生き物。
- びったり合う、あつらえ向き。うってつけ。
- 目玉のことです。
- 雨が降ったらさします。

答え・・・□□□



ヒント……夏によく食されるウリ科の植物の果実

編集後記

▼少し前、ライブで「鹿の解体」をショーとして見せるという歌手がテレビに出た。正直言って、それを聞いた瞬間私には意味が分からなかった。動物の死体をなぜ見せ物にする必要があるのか、と。▼けれど、よく考えてみた時、私の中に知らず知らず「いのち」への差別の心があるのだと気づかされた。▼この広島にも「マグロの解体ショー」を売りにする居酒屋や寿司屋がある。幾度となく広告や雑誌で目にしたこともある。けれどマグロの解体を見せることには特に何も感じていなかった自分が確かにいたのだ。鹿とマグロ。「いのち」に違いはないはずなのに、鹿は生き物、マグロは食べ物という意識が恥ずかしなからどこかにあったのだろう。▼他にも、私は例えばインターネットなどで横行するヘイトスピーチとかの差別発言が好きではない。なぜ、差別するのか理解できない。そう思ってきた。しかし、それやはり自分の都合の範囲でしか考えていない。自分の都合に合わない人や思考に合わない人に偏見をもったり、嫌ったりする心がこの私の中に存在しているのだ。▼その歌手は「動物が食べ物になっていく過程」を生で観て、その意味を感じてほしい」と語っていた。勿論、本音はわからないがその歌手なりに「いのち」の大切さ、ありがたさを伝えたかったようだ。▼それでもライブでショーとして見せることは正しいこととは思わない。しかる、自らの「いのち」への向き合い方をもう一度考える、大きな機会になったことは間違いない。▼また、私の「いのち」が、たくさん他の「いのち」のおかげによって生かされているのちであったことを改めて再確認し、私が生きていることはけっして当たり前ではなく、ありがたいうことであったのだと、「いのち」への感謝の時間を与えてくれたように思う。(平)